

建設消防委員会

公園管理事務所

## 浜松城天守閣展示リニューアル事業について

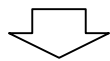
### ■事業目的

- ・ 本年は、徳川家康公が浜松城を築いてから 450 年の節目の年である
- ・ 浜松城の魅力を高めるとともに、市民や来園者の満足度の向上を図ることを目的に、展示エリアのリニューアルを実施する

### ■事業概要

#### 現在の浜松城

- ・ 浜松城天守閣は、昭和 33 年に市民からの寄附等により建設された公園施設
- ・ 天守閣内の主要な展示は、市民等からの寄贈品で構成されている
- ・ 年間約 20 万人が訪れている浜松城は、本市における観光・文化の拠点となっている
- ・ 展示物の老朽化・重複等の見直しや、さらなる魅力度アップに関する意見もある



#### 展示リニューアル事業の概要

- ・ 受託者 **㈱乃村工芸社**（東京都港区台場 2-3-4） 契約額 48,378,000 円（税込）
- ・ 基本的な考え
  - ① 家康公が居城していた 17 年間を軸に引間城から現在へと至る歴史を通史的に紹介
  - ② 浜松城が有する重層的な歴史の周知により市内各地の城郭へと誘う拠点機能の向上
  - ③ 多言語対応のパネルやデジタル映像コンテンツ制作によるインバウンド効果
- ・ 工 期

**令和 2 年 8 月 5 日（水）～令和 2 年 12 月 28 日（月）**

～9 月末 実施設計 → ～10 月下旬 映像等作成 → 10 月下旬～ 現場作業

天守閣の閉館 10 月 05 日（月）、10 月 26 日（月）～12 月 28 日（月）予定

※事業後の開館日は、年末年始休館日（12/29～31）等を踏まえ定める

市民への周知 広報はままつ 9 月 5 日号、浜松市ホームページ

現場見学会 10 月下旬～11 月上旬頃の予定

### ■その他

- ・ 本件事業は、文化財課（歴史文化）、観光 C P 課（観光）と連携し実施する
- ・ リニューアルに関する段階的な情報は、浜松市ホームページ等を活用し随時発信する
- ・ 天守門は、天守閣の閉館期間であっても、可能な限り開館する予定
- ・ 本事業に合わせ、コロナ禍を踏まえた運営及び維持管理体制の構築を図る

■参考

考え方と内容

① 若き家康公の再評価を共有する

信玄の挑発にのって大敗する、信長に反抗して浜松に留まるなど、浜松時代の家康公は試練に立ち向かう情熱的な若者でした。後の大人物然としたイメージとは違うこの姿は、多くの年代の共感と呼ぶと考えます。浜松城に残る若き家康公が確かに存在した証を活かし、リアリティを追求した展示とします。



② “IEYASUツーリズム” の起点とする

浜松城の魅力は、家康公がつくった城と街の歴史の重層性を、現在の景観の中に実感できることにあります。そのゆかりの地をめぐる“IEYASUツーリズム”といえるまち歩き観光の起点となることが、本施設には可能です。城内をめぐる展示体験をきっかけに市内の“IEYASU ツーリズム ”へと誘引する展開とします。

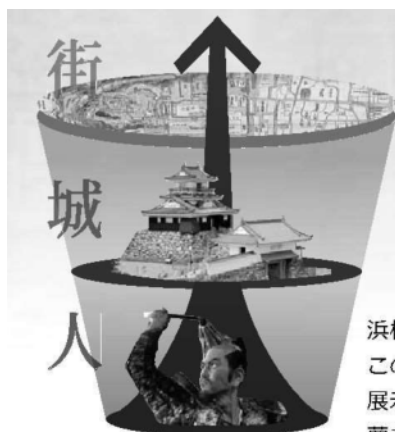


③ 浜松創生のシンボルを共創する

浜松城天守閣は、市民の寄付で復興されたまさに浜松創生のシンボルといえます。当時の市民の思いを再認識し浜松市への誇りを醸成する場とします。市民の思いを形にして共に創る展示を目指します。



設計テーマ・コンセプト



<設計テーマ・コンセプト>

浜松城を語る「人」の思い、「城」の歴史、「街」の景を、3層の展示体験がつなぐ家康公の心をうつす

「情熱(人)」「情勢(城)」「情景(街)」。

3つの“情”<sup>ところ</sup>でめぐる若き家康公の世界観

浜松城を解き明かす「人」「城」「街」を、1階から3階を往復する展示体験がつなぎます。この地に城を築いた家康公が、浜松と城に込めた熱き思いを体感するところから展示が始まり、家康公の目線でめぐります。青壮年期の情熱、時代を画した情勢、夢を描いて展望したであろう情景を、各層の特色にした展示シナリオを提案します。

1F 人  
情熱の層

家康公の熱き思いを描く

情熱的に戦国の世を駆け抜けた若き家康公の思いをドラマチックに描きます。

2F 城  
情勢の層

家康公の城・浜松城の歴史を掘り起こす

社会情勢とともに移り変わった城の歴史の真価を実物資料により掘り起こします。

3F 街  
情景の層

家康公が愛した街・浜松を望む

家康公や歴代城主が見たであろう浜松の情景を眺め、彼らの夢や取組に思いを馳せます。